

授業科目名 ( 英文名 )	教育制度論	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	野津 隆志	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	現代の学校教育に関する社会的、制度的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。		
講義内容・授業計画	<p>授業の概要 日本と諸外国の学校教育に関する社会的、制度的な歴史、現状、課題について学ぶ。また、近年、学校教育で重視されている学校と地域との連携及び学校安全への対応についても学ぶ。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス：教育制度を学ぶ意義</p> <p>第2回：戦後日本の教育制度改革</p> <p>第3回：開発途上国の教育制度の現状と課題</p> <p>第4回：開発途上国の小学校制度</p> <p>第5回：日本と世界の女子教育制度</p> <p>第6回：公教育の原理：教育を受ける権利</p> <p>第7回：公教育を構成する教育法規</p> <p>第8回：中央の教育行政</p> <p>第9回：地方の教育行政</p> <p>第10回：教育課程の制度と課題</p> <p>第11回：日本の多文化共生のための教育</p> <p>第12回：アジアの多文化共生のための教育</p> <p>第13回：日本における学校と地域との連携</p> <p>第14回：諸外国における学校と地域との連携</p> <p>第15回：学校安全への対応</p> <p>定期試験</p>		
テキスト	使用しない		
参考文献	授業資料を配付する		
成績評価の基準・方法	出席点20%、中間レポート30%、期末試験50%で評価する		
履修上の注意・履修要件			
実践的教育	該当しない		
備考			